

2022 年4月1日

2022年度入社式 社長挨拶

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二)は、2022 年4月1日(金)に新入社員を迎えました。
社長挨拶の主旨について、別紙の通りお知らせ致します。

2022 年4月1日新入社員

第一生命・第一フロンティア生命・ネオファースト生命	340 名
第一生命情報システム	40 名
第一生命チャレンジド	11 名
第一ビルディング	4名
相互住宅	6名
	計 401 名

“生命保険の枠を超えて、一人ひとりの「well-being」に貢献”

新入社員の皆さん、ご入社おめでとうございます。皆さんを心から歓迎いたします。

1年前、第一生命グループは、新たな3か年の中期経営計画「Re-connect 2023」の公表とともに、新たなステージへの挑戦に踏み出しました。第一生命グループは、中期経営計画「Re-connect 2023」を通じて人々の「well-being」を守り、高めることを強く打ち出しています。

私は、「well-being」とは、一人ひとりが、安心に満ち、豊かで健康な人生を送り、幸せな状態であることだと考えています。

一人ひとり異なる「well-being」を守り、高めていくことは、一人ひとりに向き合い、その人の抱える悩みや不安をやわらげるサポートをお届けすることで、「安心」を超えた「幸せ」を感じていただくことなのだと思います。

第一生命は創業以来、お客さまの豊かで安心な暮らしの実現を支援してきました。これからは、「安心」の先にある「well-being」を高めていくことに挑戦し、そしてそれが更なるグループの成長につながると、私は考えています。

今年は第一生命の創立 120 周年の年にあたります。この記念すべき年を迎えるにあたり、昨年9月に「しあわせ『だ・い・い・ち』プロジェクト」を立ち上げました。一人ひとりの価値観が多様化する現在、笑顔や夢、希望あふれる幸せな毎日のために、私たちは生命保険の枠を超えて、一人ひとりの「well-being」に貢献していきます。

第一生命では「従来の保険会社の枠を超えて、お客さまの安心とその先にある幸せの実現にあらゆる貢献をする会社」に進化していくことに挑戦します。一人ひとりの幸せに貢献するためには、グループ7万人が、お客さまや社会のために正しいと思うことを誠心誠意考え、行動することが、今まで以上に大切だと考えています。

そして、一緒に働く仲間を尊重し、お互いから学び合い、一緒に成長する、全社員がイキイキと、ワクワクしながら働いている会社でありたいと思います。

第一生命は、明治時代に、創業者である矢野恒太が、誰もがいつまでも健康に豊かに暮らせる社会を作りたい、国民が抱える不安・社会課題を解決したいという理想と夢を持って挑戦を続けた結果、生まれた会社なのです。

いま世間では、様々な社会課題を解決するための国際目標である「SDGs」が謳われていますが、矢野恒太は創業当時から「SDGs」の意思を持ち、社会課題解決に向けて挑戦してきました。

創業当時から第一生命は、「お客さま第一主義」を掲げ、お客さまの声に真摯に向き合い続けてきました。同時に、お客さまの「一生涯のパートナー」という変わらない存在であり続けるためのチャレンジを続けてきました。この強い信念とチャレンジ精神は、第一生命のDNAであり、今も第一生命に脈々と受け継がれています。

現状に満足しては、常に変化し続ける時代に対応できません。だからこそ、徹底したお客さま本位の姿勢で、変革にチャレンジしていく必要があります。

人々の価値観やニーズは、どんどん多様化し、家庭や仕事のスタイル、大切にすることも、どんどん多様化しています。そんな今の時代のありようを肌で感じ、最も理解しているのは、他ならぬ皆さん自身ではないでしょうか。

皆さんが、柔軟な発想でそれぞれの所属に新たな風を吹き込み、誠意を持って挑戦し、会社の変革に寄与されることを期待しています。